

2026.2.15
(uploaded 2026.2.17)

心の”good old days”

Words by Keiichiro Kodama
& San Motegi
Music by Keiichiro Kodama
Performed by HUSHBYRD
2-110, 4'22”

早朝の駅で通勤や通学の人並みに混じって信号を渡っていると、自分の周りを歩いている人たちの心に今どんな風景が浮かんでいるんだろうと思うことがある。無表情に見える殻の中にはどんな”きみ”がいるんだろう。みんなが心にしまっている”あの頃の君”を歌にしてみた。

When I'm crossing the traffic lights at a station early in the morning, mixed in with the people commuting to work or school, I sometimes wonder what kind of scenery is floating in the minds of the people walking around me. I wonder what kind of "you" is inside that expressionless-looking shell. I tried to write a song about the "you from back then" that everyone keeps in his/her heart.

遠い昔のことと
言ってしまうえば それだけ
でも ぼくらの小さな宝
今も キラリ光る

みんな 胸の中に
しまってる good old days
少しだけ 心開けば
あの日に 帰れるかな

春の風がゆらす れんげを

つんで 君は走る

夏の光 溢れる

緑の森を 駆け抜ける

にぎやかな 笑い声は

二度と 訪れないものと

分かって いるけど

人は戻る 場所が欲しい

時が 扉を開け

遠い日の 宝物

そっと 見せてくれるのを

みんな 待っている

人の波は 今朝も駅に

向かって 続いてく

同じ色の 背中が揺れる

ちょっと 前屈みで歩いてる

足は黙って オフィスへ

頭には 今日のスケジュール

でも 重い胸の片隅に

それぞれの 君がいる

ホームに 朝の光
スズメが チュンと鳴いた時
小さな 宝の箱の
フタが 動いたような

電車に 揺られて
遠ざかる 後ろ姿
レールの彼方に 霞む
あの日を 見ているのかな

みんな 持っているよ
心の ”good old days”
遠い日に 戻れたら
あのgood old days

当サイトの内容、テキスト、画像、楽曲等の無断転載・無断使用を固く禁じます

Unauthorized copying and replication of the contents of this site, text ,music and images
are strictly prohibited.